

別 添 資 料

1. コース実施従事者名簿
2. 年度別・国別・男女別研修員受入実績
3. コース別実施状況
 - ・マネジメントコース 表1
 - ・システムエンジニア養成コース 表2
 - ・オンラインシステム設計コース 表3
 - ・データベースシステム設計コース 表4
 - ・インストラクタ養成コース 表5
 - ・シニアプログラマ養成コース 表6
 - ・パーソナルコンピュータコース 表7
 - ・汎用パッケージ利用コース 表8
4. アンケート集計結果
5. 沖縄国際センター・システム構成図
6. 情報処理要員養成コース実施に係る使用機器賃貸借料一覧
7. 情報処理要員養成コース用開発テキスト一覧
8. 情報処理要員養成コース新規テキスト開発・メンテナンス経費一覧
9. 情報処理要員養成コース用購入テキスト一覧
10. 学籍管理システム及び図書管理システム開発経費一覧

1. コース実施従事者名簿

1-1 日本電信電話株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

昭和60年度日本電信電話株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

項	種 別	所 属 ・ 役 職	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数	備 考
1	コースリーダー (業務管理責任者)	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当部長	45才	第1種伝送交換主任技術者	22年	沖縄国際センター常駐
2	チーフインストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当課長	35才		12年	沖縄国際センター常駐
3	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	45才		19年	沖縄国際センター常駐
4	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	30才		7年	沖縄国際センター常駐
5	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	33才		7年	沖縄国際センター常駐
6	中央学園常駐要員	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当部長	44才	第1種伝送交換主任技術者	20年	
7	中央学園常駐要員	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当課長	37才		14年	
	その他					

昭和61年度日本電信電話株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

項	種 別	所 属 ・ 役 職	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数	備 考
1	コースリーダー (業務管理責任者)	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当部長	46才	第1種伝送交換主任技術者	23年	沖縄国際センター常駐
2	チーフインストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当課長	38才		15年	沖縄国際センター常駐
3	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	46才		20年	沖縄国際センター常駐
4	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	36才		13年	沖縄国際センター常駐
5	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	31才		8年	沖縄国際センター常駐
6	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	42才		18年	沖縄国際センター常駐
7	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	35才		12年	沖縄国際センター常駐
8	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	34才		8年	沖縄国際センター常駐
9	中央学園常駐要員	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当部長	45才	第1種伝送交換主任技術者	21年	
10	中央学園常駐要員	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当課長	33才		9年	
	その他					

昭和62年度日本電信電話株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

項	氏名	所属・役職	年齢	取得資格	大学卒業後経験年数	備考
1	コースリーダー (業務管理責任者)	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当部長	39才		16年	沖縄国際センター常駐
2	チーフインストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当課長	36才		14年	沖縄国際センター常駐
3	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	36才		13年	沖縄国際センター常駐
4	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	43才		19年	沖縄国際センター常駐
5	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 インストラクター	39才	第1種伝送交換主任技術者	17年	沖縄国際センター常駐
6	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	28才		5年	沖縄国際センター常駐
7	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	45才	第1種伝送交換主任技術者	20年	沖縄国際センター常駐
8	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	28才		5年	沖縄国際センター常駐
9	中央学園常駐要員	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当部長	46才	第1種伝送交換主任技術者	22年	
10	中央学園常駐要員	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当課長	34才		8年	
	その他					

昭和63年度日本電信電話株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

項	氏名	所属・役職	年齢	取得資格	大学卒業後経験年数	備考
1	コースリーダー (業務管理責任者)	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当部長	40才		17年	沖縄国際センター常駐
2	チーフインストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当課長	37才		15年	沖縄国際センター常駐
3	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	44才		20年	沖縄国際センター常駐
4	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	34才	第1種伝送交換主任技術者 情報処理技術者試験第1種	11年	沖縄国際センター常駐
5	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	34才	第1種伝送交換主任技術者	11年	沖縄国際センター常駐
6	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 インストラクター	51才		22年	沖縄国際センター常駐
7	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	46才	第1種伝送交換主任技術者	21年	沖縄国際センター常駐
8	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	40才	第1種伝送交換主任技術者	18年	沖縄国際センター常駐
9	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	29才		6年	沖縄国際センター常駐
10	インストラクタ	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 同	29才		6年	沖縄国際センター常駐
11	中央学園常駐要員	中央電気通信学園研修部沖縄国際センター部門 担当課長	47才		21年	
	その他					

1-2 富士通株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

昭和60年度富士通株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

常駐講師

項	種 別	所 属	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数
1	チーフインストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	33 才		11 年
2	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	27 才		5 年
3	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	26 才	情報処理技術者試験第1種	3 年
4	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	26 才		1 年
5	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	27 才	情報処理技術者試験第2種	1 年
6	操作指導員	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	22 才	情報処理技術者試験第2種	0.5 年
7	操作指導員	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	20 才	情報処理技術者試験第2種	0.5 年

短期派遣講師

項	種 別	所 属	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数
8	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	35 才		17 年
9	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	31 才		9 年
10	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	37 才		19 年
11	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	30 才	情報処理技術者試験第1種	12 年
12	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	26 才	情報処理技術者試験第2種	3 年
13	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	26 才	情報処理技術者試験第2種	2 年
14	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	29 才		2 年
15	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	26 才		3 年
16	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	21 才		1 年
17	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	22 才		1 年
18	インストラクタ	富士通(株) 海外事業部システム部第三システム課	25 才		1 年

昭和61年度富士通株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

常駐講師

項	種 別	所 属	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数
1	チーフインストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	34才		12年
2	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	28才		6年
3	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	27才	情報処理技術者試験第1種	4年
4	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	29才		3年
5	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	27才		2年
6	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	27才	情報処理技術者試験第2種	2年
7	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	22才		2年
8	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	23才		2年
9	操作指導員	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	23才	情報処理技術者試験第2種	1年
10	操作指導員	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	21才	情報処理技術者試験第2種	1年

短期派遣講師

項	種 別	所 属	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数
11	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	36才		18年
12	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	32才		10年
13	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	38才		20年
14	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	31才	情報処理技術者試験第1種	13年
15	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	26才	情報処理技術者試験第2種	4年
16	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	27才	情報処理技術者試験第2種	3年
17	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	23才	情報処理技術者試験第2種	2年
18	インストラクタ	富士通(株) 海外事業部システム部第三システム課	26才		2年
19	インストラクタ	富士通(株) 海外事業部システム部第三システム課	26才		2年
20	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	28才		3年
21	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	25才		3年
22	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	23才		1年
23	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第三システム課	24才		4年

昭和62年度富士通株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

常駐講師

項	種 別	所 属	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数
1	チーフインストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	37才		19年
2	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	32才	情報処理技術者試験第1種	14年
3	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	28才	情報処理技術者試験第2種	4年
4	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	30才		4年
5	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	26才		1年
6	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	23才		3年
7	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	24才		3年
8	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	29才		4年
9	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	26才		4年
10	操作指導員	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	29才	情報処理技術者試験第2種	2年
11	操作指導員	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	22才	情報処理技術者試験第2種	2年

短期派遣講師

項	種 別	所 属	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数
12	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	33 才		11 年
13	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	39 才		21 年
14	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	29 才		7 年
15	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	28 才	情報処理技術者試験第1種	5 年
16	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	27 才	情報処理技術者試験第2種	5 年
17	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	24 才	情報処理技術者試験第2種	3 年
18	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	33 才		15 年
19	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	25 才		1 年
20	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	46 才		24 年
21	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部開発課	35 才		17 年
22	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	24 才		2 年
23	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	25 才		5 年
24	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	29 才		3 年
25	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	24 才		0.5 年

昭和63年度富士通株式会社情報処理要員養成コース実施業務従事者名簿

常駐講師

項	種 別	所 属	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数
1	チーフインストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	38 才		20 年
2	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	33 才	情報処理技術者試験第1種	15 年
3	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	29 才	情報処理技術者試験第2種	5 年
4	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	31 才		5 年
5	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	27 才		2 年
6	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	24 才		4 年
7	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	25 才		4 年
8	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	30 才		5 年
9	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	27 才		5 年
10	操作指導員	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	30 才	情報処理技術者試験第2種	3 年
11	操作指導員	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	23 才	情報処理技術者試験第2種	3 年

短期派遣講師

項	種 別	所 属	年 齢	取 得 資 格	大学卒業後経験年数
12	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	34 才		12 年
13	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	40 才		22 年
14	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	30 才		8 年
15	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	29 才	情報処理技術者試験第1種	6 年
16	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	28 才	情報処理技術者試験第2種	6 年
17	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	25 才	情報処理技術者試験第2種	4 年
18	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	34 才		16 年
19	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	26 才		2 年
20	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部第一教育課	47 才		25 年
21	インストラクタ	富士通(株) 教育事業部教育部開発課	36 才		18 年
22	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	25 才		3 年
23	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	26 才		6 年
24	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	30 才		4 年
25	インストラクタ	(株) 沖縄富士通システムエンジニアリングシステム部第一システム課	25 才		1.5 年

2. 年度別、国別、男女別研修員受入実績

昭和60年度 情報処理要員養成コース 国別・男女別研修員受入数

地域	国名	男	女	計	備考
アジア	インドネシア	13	2	15	
	マレーシア	7	5	12	
	フィリピン	9	9	18	
	タイ	4	9	13	
	ブルネイ	1	0	1	
	シンガポール	3	1	4	
	(アセアン 小計)	37	26	63	
	大韓民国	3	0	3	
	香港	1	1	2	
	中国	3	0	3	
中近東	パキスタン	3	0	3	
	スリ・ランカ	1	0	1	
	インド	1	0	1	
	小計	49	27	76	
	イラン	0	0	0	
	エジプト	3	0	3	
	バハレン	1	0	1	
	ジョルダン	1	0	1	
	チュニジア	2	0	2	
	小計	7	0	7	
中南米	アルゼンチン	1	1	2	
	ブラジル	3	0	3	
	メキシコ	3	0	3	
	コロンビア	1	0	1	
	ヴェネズエラ	1	0	1	
	小計	9	1	10	
	象牙海岸	1	0	1	
	小計	1	0	1	
	アフリカ				
	オセアニア	フィジー	0	1	1
パプア・ニューギニア		1	1	2	
小計		1	2	3	
総計		67	30	97	

昭和61年度 情報処理要員養成コース 国別・男女別研修員受入数

地域	国名	男	女	計	備考
アジア	インドネシア	11	6	17	
	マレーシア	11	0	11	
	フィリピン	5	11	16	
	タイ	7	10	17	
	ブルネイ	0	2	2	
	シンガポール	1	1	2	
	(アセアン 小計)	35	30	65	
	大韓民国	7	0	7	
	香港	3	0	3	
	中国	4	2	6	
中近東	パキスタン	1	0	1	
	スリ・ランカ	4	1	5	
	ビルマ	1	0	1	
	小計	55	33	88	
	シリア	1	1	2	
	エジプト	2	1	3	
	チュニジア	4	0	4	
	イラク	1	0	1	
	小計	8	2	10	
	中南米	アルゼンティン	5	3	8
ブラジル		6	3	9	
メキシコ		4	1	5	
コロンビア		4	3	7	
ヴェネズエラ		1	0	1	
チリ		4	0	4	
小計		24	10	34	
セイシエル		0	1	1	
マラウイ		1	0	1	
シエラ・レオネ		0	1	1	
小計	1	2	3		
オセアニア	フィジー	0	1	1	
	バプア・ニューギニア	0	1	1	
	小計	0	2	2	
総計	88	49	137		

昭和62年度 情報処理要員養成コース 国別・男女別研修員受入数

地域	国名	男	女	計	備考
アジア	インドネシア	11	0	11	
	マレーシア	9	5	14	
	フィリピン	5	7	12	
	タイ	7	9	16	
	ブルネイ	1	2	3	
	シンガポール	1	3	4	
	(アセアン小計)	34	26	60	
	大韓民国	4	0	4	
	香港	2	1	3	
	中国	7	1	8	
中近東	パキスタン	1	0	0	
	スリ・ランカ	3	3	6	
	ビルマ	0	2	2	
	小計	51	33	84	
	シリア	4	2	6	
	エジプト	3	0	3	
	チュニジア	3	0	3	
	イラク	1	1	2	
	モロッコ	1	0	1	
	サウディ・アラビア	3	0	3	
中南米	ジョルダン	2	0	2	
	小計	17	3	20	
	アルゼンティン	3	2	5	
	ブラジル	7	3	10	
	メキシコ	5	2	7	
	コロンビア	6	2	8	
	ヴェネズエラ	2	0	2	
	チリ	1	1	2	
	パラグアイ	1	1	2	
	ペルー	2	1	3	
アフリカ	小計	27	12	39	
	象牙海岸	1	0	1	
	マラウイ	1	0	1	
	シエラ・レオネ	1	0	1	
	モーリシャス	2	0	2	
	ケニア	1	0	1	
	小計	6	0	6	
	バプア・ニューギニア	2	0	2	
	小計	2	0	2	
	オセアニア				
小計	103	48	151		

昭和63年度 情報処理要員養成コース 国別・男女別研修員受入数

地域	国名	男	女	計	備考
アジア	インドネシア	7	1	8	
	マレーシア	3	1	4	
	フィリピン	2	3	5	
	タイ	4	5	9	
	シンガポール	0	2	2	
	(アセアン 小 計)	16	12	28	
アジア近東	大韓民国	1	0	1	
	香港	0	1	1	
	中国	1	0	1	
	スリ・ランカ	3	0	3	
	小 計	21	13	34	
	エジプト	3	1	4	
	イラク	4	2	6	
	トルコ	0	1	1	
	サウディ・アラビア	1	0	1	
	ジョルダン	1	0	1	
小 計	9	4	13		
中南米	アルゼンチン	1	1	2	
	ブラジル	1	0	1	
	ホンジュラス	1	0	1	
	コロンビア	1	0	1	
	ヴェネズエラ	1	0	1	
	チリ	0	1	1	
	パラグアイ	3	0	3	
	ペリウズ	1	0	1	
	小 計	9	2	11	
	象牙海岸	1	0	1	
アフリカ	マラウイ	1	0	1	
	シエラ・レオネ	0	1	1	
	ガーナ	0	1	1	
	ニジェール	2	0	2	
	タンザニア	1	0	1	
	小 計	5	2	7	
オセアニア	パプア・ニューギニア	2	0	2	
	フィジー	1	0	1	
	小 計	3	0	3	
ヨーロッパ	ユーゴスラビア	1	1	2	
	小 計	1	1	2	
総 計		48	22	70	

(昭和63年7月現在)

3.コース実施状況

表1 コース別実施状況(マネージメントコース)

実施総評	<p>当コースはDP部門の管理者を対象としているため対象科目を絞り、研修期間をできるだけ短く設定した。しかし、実際の管理者に重要なプロジェクトの管理手法は講義のみでカバーすることは難しく、このため体験学習方式のプロジェクト管理シミュレーションゲームを導入した。 現在は、システム監査及びセキュリティに関して、「DP部門の運用管理」の科目の中で概要を講義しているが、極めて重要なトピックでもあり、今後これらの技法について更に充実する必要があると思われる。</p>			
コース	60年度マネージメントコース (17)	60年度特設マネージメントコース(17)	61年度マネージメント+特設マネージメントコース (17)	62年度マネージメントコース (21)
実施科目	<p>*ハードウェア、ソフトウェア概要 (0.5) (注):()内は日数を示す。 *最新のコンピュータ動向 (1.0) *特別講義 (1.0) *DPシステム導入計画法 (2.0) *DP部門の運用管理 (1.0) *事例紹介 (1.0) *システム開発演習 (2.0) *パーソナルコンピュータ実習(1.0) *その他 (6.5)</p>	<p>*ハードウェア概要 (1.0) *ソフトウェア概要 (1.0) *ソフトウェア生産技術概論 (0.5) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *特別講義 (0.5) *DPシステム導入計画法 (2.0) *DP部門の運用管理 (1.0) *事例紹介 (1.0) *システム開発演習 (2.0) *パーソナルコンピュータ実習(1.0) *その他 (6.0)</p>	<p>*ソフトウェア生産技術概論 (0.5) *システム開発概論 (0.5) *オンラインデータベース概要 (1.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *特別講義 (0.5) *DPシステム導入計画法 (2.5) *DP部門の運用管理 (1.0) *事例紹介 (1.0) *システム開発演習 (2.0) *その他 (7.0)</p>	<p>*ソフトウェア生産技術概論 (0.5) *システム開発概論 (0.5) *オンラインデータベース概要 (1.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *特別講義 (0.5) *DPシステム導入計画法 (2.5) *DP部門の運用管理 (1.0) *事例紹介 (0.5) *システム開発演習 (2.0) *プロジェクト管理シミュレーション (5.0) *その他 (6.5)</p>
実施状況	<p>研修員の経験度が高かったため当初2日間予定していたハード及びソフト概要は半日で実施しその分システム開発演習及び特別講義を充実した。</p>	<p>研修員の経験度は低かったため当初計画の科目に戻して実施した。 オンラインデータベース、OS及びCOBOLを目的とした研修員には個別に資料を配付した。</p>	<p>パソコン実習は期間が短く(1日)賛否両論があったが取り止め前年度要望が多かったオンラインデータベース概要を追加した。 研修員の経験度が比較的高かったため、ハードウェア概要及びソフトウェア概要は削除し、DPシステム導入計画法及び見学実習の充実にあてた。</p>	<p>期間を前年度より4日間延長し、プロジェクト管理シミュレーションを追加した。</p>
要望事項等	<p>パソコン実習の存続については賛否両論があったが、コース期間が短いことから来年度は取り止め他の主要科目を充実することとした。</p>	<p>全員が管理者経験の無い研修員であり、管理者養成科目よりも基礎科目の関心が高かった。</p>	<p>DPシステム導入計画法の演習時間及びシステム開発演習の時間が不足した。これは、研修員のバックグラウンドや国情の違いによりディスカッションに時間を要したことによる。</p>	<p>基礎科目を必要最小限にして、プロジェクト管理シミュレーションの科目を追加したが時間が不足した。 DP部門の運用管理についてもっと詳細に知りたい。</p>
期待満足度	<p>マネージャ: 10/17名</p>	<p>マネージャ: 0/6名</p>	<p>マネージャ: 6/17名</p>	<p>(凡例) (以降同様) <input type="checkbox"/>: 全面的に満たされた。 <input checked="" type="checkbox"/>: かなり満たされた。 <input type="checkbox"/>: 満たされた。 <input type="checkbox"/>: 余り満たされなかった。 <input type="checkbox"/>: 全く満たされなかった。</p> <p>マネージャ: 11/17名 (10名は3年以上の経験有)</p>
コースレベル	<p>易しい科目: ハード/ソフト概要</p>	<p>難しい科目: 全般的</p>	<p>易しい科目: 概要の科目全般的</p>	<p>(凡例) (以降同様) <input checked="" type="checkbox"/>: 難しい <input type="checkbox"/>: 適当 <input type="checkbox"/>: 易しい</p>

表2 コース別実施状況(システムエンジニア養成コース)

実施総評	<p>・当コースは研修員の経験度に著しく差が生ずる傾向にあるコースの1つであり、システム開発経験の豊富な研修員からプログラマまで応募されることが多い。特にアセアンの研修員にプログラマが多く、コース運営が難しいコースである。</p> <p>・上記理由により、設計科目を重視しプログラミング科目を排除するよう提案する経験の豊富な研修員もいる反面、プログラミング技術を知りたい研修員も多く要望は多岐に渡っている。</p>				
コース	60年度	61年度システムエンジニア(A)(110)	61年度システムエンジニア(B)(110)	62年度システムエンジニア(A)(118)	62年度システムエンジニア(B)(118)
主な実施科目	<p>(注)：()内は実施日数を示す。</p>	<p>*TSS、OS基礎及び使用法 (12.0) *システムオペレーション (2.5) *オンラインデータベース概論 (1.0) *VSAM COBOL プログラミング (6.0) *オンラインプログラミング (6.0) *システム分析 (3.0) *プログラム設計/テスト計画 (4.0) *プロジェクト開発管理 (1.5) *総合実習 (32.0) *能力評価/性能評価 (15.5) *ネットワーク設計 (4.5) *DP部門の運用管理 (1.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (20.0)</p>	<p>*TSS、OS基礎及び使用法 (12.0) *システムオペレーション (2.5) *オンラインデータベース概論 (1.0) *VSAM COBOL プログラミング (6.5) *オンラインプログラミング (6.5) *システム分析 (3.0) *プログラム設計/テスト計画 (6.5) *プロジェクト開発管理 (1.5) *総合実習 (32.0) *能力評価/性能評価 (15.5) *ネットワーク設計 (4.5) *DP部門の運用管理 (1.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (16.5)</p>	<p>*TSS、OS基礎及び使用法 (11.0) *システムオペレーション (2.5) *オンラインデータベース概論 (1.0) *VSAM COBOL プログラミング (6.5) *オンラインプログラミング (6.5) *システム分析 (3.0) *プログラム設計/テスト計画 (6.5) *プロジェクト開発管理 (1.5) *総合実習 (33.0) *能力評価/性能評価 (16.0) *ネットワーク設計 (4.5) *DP部門の運用管理 (1.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (24.0)</p>	<p>*TSS、OS基礎及び使用法 (11.0) *システムオペレーション (2.5) *オンラインデータベース概論 (1.0) *VSAM COBOL プログラミング (6.5) *オンラインプログラミング (6.5) *システム分析 (3.0) *プログラム設計/テスト計画 (7.0) *プロジェクト開発管理 (2.0) *総合実習 (33.0) *能力評価/性能評価 (16.0) *ネットワーク設計 (4.5) *DP部門の運用管理 (1.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (23.0)</p>
実施状況	61年度より開始	<p>・システム設計経験の少ない研修員が多く、またプログラム技法そのものを知りたい研修員もおり、個別に対応した。</p>	<p>・プログラミング技術の欠ける研修員がおり、該当科目の日数を延長して実施した。しかし、経験の多い研修員はプログラムの科目に不満をもらした。</p>	<p>・前年度より期間を8日間延長し、夜間等に時間延長して実施していた分を吸収した。また、予備日を設定し進度の調整にあてた。</p>	<p>・研修員間のレベル差が大きかったのをそれを考慮したきめ細かな指導を行った。 ・システム評価科目群は研修員より特に高い評価を得た。</p>
要望事項等		<p>・COBOL及びデータベースの設計・プログラミングを科目に追加して欲しい。 ・プログラミング技術そのものを学習したい。</p>	<p>・設計及び評価科目を充実して欲しい。またデータベース関連の科目を追加して欲しい。</p>	<p>・総合実習で評価技法も適用したい。また、プログラミングよりも設計技法に重点を置き期間も延長して欲しい。</p>	<p>・総合実習は全員が管理技法を修得できる体制として欲しい。 ・システム評価科目群は総合実習の前に行ったほうが良い。</p>
期待満足度		<p>22% 67% 11% 7% 39% 47% 7% 大学講師：2名、研究者：1名他</p>	<p>50% 50% 18% 55% 27% 訓練機関講師：2名他(アジアのみ)</p>		
コースレベル		<p>91% 4% 5%</p>	<p>86% 8% 6%</p>	<p>94% 6%</p>	<p>95% 5%</p>

表3 コース別実施状況（オンラインシステム設計コース）

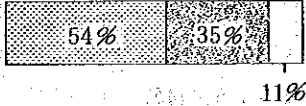
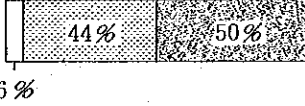
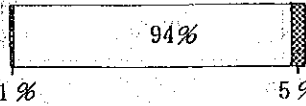
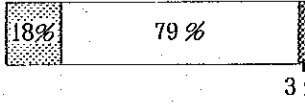
実施総評	<p>・オンラインデータベース及びシステム設計の一般論を知りたいと要望する研修員がいた。データベースについては他に「データベースシステム設計コース」があることもあり、当コースではデータベースについては概要程度で済ませ、当科目に対して要望の強い研修員には資料を提供する等個別に対応した。この要望については、コース見直しの中で検討する。</p>		
コース	60 年 度	61年度オンラインシステム設計 (68)	62年度オンラインシステム設計 (70)
実 施 科 目	(注) :()内は日数を示す。	<ul style="list-style-type: none"> * COBOL 実習 (3.5) * TSS/OS 使用法 (8.0) * オンラインデータベース 概論 (2.0) * データ通信概論/ネットワーク設計 (4.5) * オンラインプログラミング (5.0) * オンラインシステム設計 (4.0) * オンラインシステム創成 (3.0) * 能力計算/システムシミュレーション (6.5) * プロジェクト開発管理 (1.5) * システム開発概論 (0.5) * 総合実習 (17.5) * 最新のコンピュータ動向 (1.0) * その他 (11.0) 	<ul style="list-style-type: none"> * COBOL 実習 (4.0) * TSS/OS 使用法 (8.0) * オンラインデータベース 概論 (3.0) * データ通信概論/ネットワーク設計 (4.5) * オンラインプログラミング (5.0) * オンラインシステム設計 (4.0) * オンラインシステム創成 (3.0) * 能力計算 (OS/コンピュータアーキテクチャを含む) (5.0) * プロジェクト開発管理 (2.0) * システム開発概論 (0.5) * 総合実習 (22.0) * 最新のコンピュータ動向 (1.0) * その他 (8.0)
実施状況	61年度より開始	<p>・データベース関連の知識を知りたい研修員が多く、オンラインデータベース概論の他にデータベースコースの教科書を配付し対処した。</p>	<p>・データベース関連の知識を知りたい研修員が多く、「オンラインデータベース概論」を1日延長して説明した。</p> <p>・オンライン関連科目は、期間を長く、且つ演習問題を多くとの要望が多かった。</p>
要望事項等		<p>・もっと設計の一般論を知りたいとの要望が多く62年度のコースから期間を延長し、オンラインシステム設計及び総合実習を充実させて実施中である。</p>	<p>・データベース関連科目を追加して欲しいとの要望があり（3人）コース見直しの中で検討することとした。</p>
期待満足度			
コースレベル			

表4 コース別実施状況（データベースシステム設計コース）

実施総評	<ul style="list-style-type: none"> オンラインシステム設計コースの要望と相反して、当コースの研修員はオンラインシステムの技術を知りたがっており、要望の強い研修員にはオンラインシステム関連の資料を個別に配付し対処した。 パソコン等のデータベースにリレーショナルタイプが増加しており、メインフレームでのリレーショナルデータベースに関する研修の要望も強い。 		
コース	60年度	61年度データベース (60)	62年度データベース (65)
実施科目		<ul style="list-style-type: none"> * COBOL 実習 (4.0) * TSS/OS使用法 (8.0) * オンラインデータベース概論 (2.5) * データベースプログラミング (5.0) * データベース設計 (CODASYL) (5.0) * データベース創成 (3.0) * システム開発概論 (1.0) * プロジェクト開発管理 (1.5) * 総合実習 (17.0) * 最新のコンピュータ動向 (1.0) * その他 (12.0) <p>(注) : () 内は日数を示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * COBOL 実習 (4.0) * TSS/OS使用法 (8.0) * オンラインデータベース概論 (3.0) * データベースプログラミング (5.0) * データベース設計 (CODASYL) (5.0) * データベース創成 (3.0) * リカバリ機能と設備 (4.0) * システム開発概論 (0.5) * プロジェクト開発管理 (2.0) * 総合実習 (18.0) * 最新のコンピュータ動向 (1.0) * その他 (11.5)
実施状況	61年度より開始	<ul style="list-style-type: none"> リレーショナルデータベースについて知りたい研修員があり、オンラインデータベース概論の中で追加説明して実施した。 データベースの技術だけでなくオンラインシステムについても知りたい研修員が多く、個別にオンラインコースの教科書等を配付し対処した。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度より期間を5日間延長し、データベースリカバリ、リレーショナルデータベース概要及び実演を追加して実施した。 プロジェクト管理にはコスト管理の項目を追加して実施した。
要望事項等		<ul style="list-style-type: none"> データベースのメンテナンス及びリカバリの機能を追加して欲しい。 プロジェクト管理についてもっと詳しく知りたい。 リレーショナルデータベースの科目を追加して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> DBシステム設計、創成等の科目は演習及び実習を多く盛り込んで欲しいとの要望が強く、63年度から期間を2日間延長して充実させる。 リレーショナルデータベースの科目を追加して欲しい。 オンライン関連科目を追加して欲しい。
期待満足度		<p>DBシステム経験者：5/14名</p>	<p>DBシステム経験者：10/14名</p>
コースレベル			<p>易しい科目：第4世代言語等、難しい科目：DB設計、DBリカバリ</p>

表5 コース別実施状況（インストラクタ養成コース）

実施総評	<p>現在のコースはプログラマを育成すべくインストラクタに必要な技術をカリキュラムの主体としているが、教育技法についても重視する必要がある。教育技法については、実際に教育に従事している研修員の要望が強い。</p> <p>コース開始当初はCOBOL以外の言語についても紹介していたが、COBOLを更に充実して欲しいとの要望もあり、またCOBOLの普及状況から見てもCOBOL主体でコースを運営することとした。しかし、将来的にはC、PROLOG、LISP等の言語の普及状況を見てコースに取り入れるかどうか検討する必要があると思われる。</p>			
コース	60年度インストラクタ (96)	60年度特設インストラクタ (82)	61年度インストラクタ (98)	62年度インストラクタ (100)
実施科目	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (5.0) *COBOL、FORTRAN、PL/I (17.0) *TSS/OS基礎及び使用法 (10.0) *システムオペレーション (2.5) *オンラインデータベース概論 (2.0) *DB設計及びDBプログラミング (9.0) *DC概要及びDCプログラミング (6.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (19.5) *インストラクタトレーニング (9.5) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (12.5) 	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (5.0) *COBOL、FORTRAN、PL/I (14.0) *TSS/OS基礎及び使用法 (10.0) *システムオペレーション (2.5) *オンラインデータベース概論 (2.0) *DB設計及びDBプログラミング (7.0) *DC概要及びDCプログラミング (6.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (15.5) *インストラクタトレーニング (10.0) *最新のコンピュータ動向 (0.5) *その他 (7.5) 	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (6.0) *COBOL (9.0) *TSS/OS基礎及び使用法 (11.0) *システムオペレーション (2.5) *オンラインデータベース概論 (2.0) *データベース設計及びデータベースプログラミング (10.0) *データ通信概要及びオンラインプログラミング (6.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (20.5) *インストラクタトレーニング (10.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (18.0) 	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (6.0) *COBOL (9.0) *TSS/OS基礎及び使用法 (11.0) *システムオペレーション (2.5) *オンラインデータベース概論 (2.0) *データベース設計及びデータベースプログラミング (10.0) *データ通信概要及びオンラインプログラミング (6.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (20.5) *インストラクタトレーニング (12.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (18.0)
実施状況	<p>インストラクタ経験者及び帰国後インストラクタになる者が大半であり問題意識が高く、熱心に取り組んだ。</p>	<p>シニア(B)コースと併設して実施した。このためかコース全体のカリキュラムがきついとコメントした研修員もいた。</p>	<p>前年度より期間を2日間延長し、データベース、インストラクタトレーニング及び総合実習等の科目の充実を図った。また期間の長いコースについては研修旅行を関西と関東に分けて実施した。またCOBOL、FORTRAN、PL/Iの言語については、1つの言語(COBOL)に絞り(前年度の研修員の要望により)、予備日を設定し進度の調整にあてた。</p>	<p>更に期間を2日間延長し、インストラクタトレーニングを充実した。従来は、コースの最後に研修コースのカリキュラムの設計方法、OHP教材の設計・作成方法及び視聴覚教材の設計・作成方法をコースの最後に実施していたが、OHPの設計・作成方法と視聴覚教材のそれを切り離して実施し期間も延長した。</p>
要望事項等	<p>全体的にスケジュールがきつ、FORTRAN、PL/I及びパソコンの紹介よりも基本部分を充実すべきだ。</p>	<p>パソコン実習の期間が短く中途半端であり、得るものが少ない。</p>	<p>さらにインストラクタトレーニングの期間を延長して実施して欲しい。</p>	<p>インストラクタトレーニングの科目に受講者の管理方法等を盛り込んで欲しい。</p> <p>LISP、PROLOG等の新しい言語も追加して欲しい。</p>
期待満足度	<p>7%の理由 事前にコース内容を知らされなかった</p>		<p>インストラクタ：5/11人</p>	<p>インストラクタ：2/11人</p>
コースレベル				

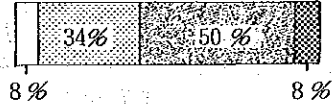
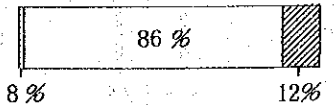
表6 コース別実施状況（シニアプログラマ養成コース）

実施総評	<ul style="list-style-type: none"> ・コース内容の比較的安定したコースの1つである。 ・プログラミング経験を前提条件としているためCOBOLの既修者が過半数以上を占め、COBOLの講義は長いとの意見も多い。 					
コース	60年度シニアプログラマA (70)	60年度シニアプログラマB (70)	61年度シニアプログラマA (71)	61年度シニアプログラマB (71)	62年度シニアプログラマA (71)	62年度シニアプログラマB (71)
実施科目	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (5.0) *COBOLプログラミング (9.0) *TSS/OS基礎と使用法 (10.0) *FORTRAN、PL/I (4.0) *データ通信概要 (1.0) *データベース概論/機能設計 (5.0) *DBプログラミング (5.0) *DCプログラミング (5.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (14.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (9.0) 	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (5.0) *COBOLプログラミング (9.0) *TSS/OS基礎と使用法 (10.0) *FORTRAN、PL/I (5.0) *データ通信概要 (1.0) *データベース概論 (2.0) *DBプログラミング (5.0) *DCプログラミング (5.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (15.5) *最新のコンピュータ動向 (0.5) *その他 (10.0) 	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (6.0) *COBOLプログラミング (9.0) *TSS/OS基礎と使用法 (11.0) *システムオペレーション (2.5) *データ通信概要 (1.0) *データベース概論 (2.0) *DBプログラミング (5.0) *DCプログラミング (5.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (15.5) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (11.0) 	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (6.0) *COBOLプログラミング (9.0) *TSS/OS基礎と使用法 (11.0) *システムオペレーション (2.5) *データ通信概要 (1.0) *データベース概論 (2.0) *DBプログラミング (5.0) *DCプログラミング (5.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (16.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (10.5) 	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (6.0) *COBOLプログラミング (9.0) *TSS/OS基礎と使用法 (11.0) *システムオペレーション (2.5) *データ通信概要 (1.0) *データベース概論 (2.0) *DBプログラミング (5.0) *DCプログラミング (5.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (16.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (10.5) 	<ul style="list-style-type: none"> *ハードウェア概要 (1.0) *プログラム設計技法 (6.0) *COBOLプログラミング (9.0) *TSS/OS基礎と使用法 (11.0) *システムオペレーション (2.5) *データ通信概要 (1.0) *データベース概論 (2.0) *DBプログラミング (5.0) *DCプログラミング (5.0) *システム開発概論 (1.0) *総合実習 (16.0) *最新のコンピュータ動向 (1.0) *その他 (10.5)
	(注) : ()内は日数を示す。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング経験の無い研修員もおり、スケジュールがきついとのコメントが多かった。 ・プログラムロジックに苦労した研修員もみられ、フローチャートの補講を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インストラクタコースと統合して実施した。 ・最新動向、特別講義等の時間を調整し、パソコン実習と総合実習に割り当てた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合実習で不要なFORTRAN、PL/I及びパソコン実習は取り止めシステムオペレーションを追加、プログラム設計技法等を充実した。 ・期間を1日延長し、進度調整のための予備日を設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度より総合実習の期間を半日延長し発表の内容を充実した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発経験は少ないがプログラム経験の多い研修員で構成されたクラスであった。 ・前年度要望があった、プロジェクト管理、品質管理等の内容を追加して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発経験が少なくかつプログラム経験の浅い研修員で構成されたコースであったが、本コースを通じてシニアプログラマとして必要な知識を修得した。これにより研修員から満足のいく評価を得た。
要望事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの順序を換えて関連科目を連続して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン実習の時間が短く、中途半端である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースに関する技術を深く知りたい。 ・プロジェクト管理等総合実習で学んだトピックも事前に学習したい。またA Iも知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト管理、品質評価の内容について、総合実習の前に講義して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・COBOL等の基礎科日の時間を減少させ、データベース及びオンラインのプログラミング時間を延長して欲しい。 ・最新技術をもっと知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースプログラミングやオンラインのプログラミングの期間を長くするとともに演習問題を入れて欲しい。 ・総合実習を長くして欲しい。
期待満足度						
コースレベル						

表7 コース別実施状況（パーソナルコンピュータコース）

実施総評	<ul style="list-style-type: none"> 特にコンピュータ関係の経験を前提条件としていないため、非常に研修員の経験度に関が生ずるコースである。 最近のパーソナルコンピュータの進歩は著しく、このため最新のハードウェア及びソフトウェアを使用できるようにして欲しいとの要望が多い。また、研修員からの要望はまだ少ないが、パソコン通信、ミニコンとパソコンの接続及びC言語等も普及しつつあり、コースに取り入れるかどうか検討する必要がある。 					
コース	60年度パーソナルコンピュータA(40)	60年度パーソナルコンピュータB(40)	61年度パーソナルコンピュータA(40)	61年度パーソナルコンピュータB(40)	62年度パーソナルコンピュータA(40)	62年度パーソナルコンピュータB(40)
実施科目	<ul style="list-style-type: none"> *パーソナルコンピュータ概要 (2.0) *ビジネスマネージメントツール (3.0) *BASIC基礎 (5.0) *BASIC応用 (5.0) *データベース (5.0) *システム設計概要 (3.0) *総合実習 (7.0) *事例紹介 (0.5) *その他 (9.5) 	<ul style="list-style-type: none"> *パーソナルコンピュータ概要 (2.0) *ビジネスマネージメントツール (3.0) *BASIC基礎 (5.0) *BASIC応用 (5.0) *データベース (5.0) *システム設計概要 (1.0) *総合実習 (9.0) *事例紹介 (0.5) *その他 (9.5) 	<ul style="list-style-type: none"> *パーソナルコンピュータ概要 (2.0) *ビジネスマネージメントツール (3.0) *BASIC基礎 (5.0) *BASIC応用 (5.0) *データベース (5.0) *総合実習 (10.0) *事例紹介 (0.5) *その他 (9.5) 	<ul style="list-style-type: none"> *パーソナルコンピュータ概要 (1.5) *ビジネスマネージメントツール (3.0) *BASIC基礎 (5.0) *BASIC応用 (5.0) *データベース (5.0) *総合実習 (11.0) *事例紹介 (0.5) *その他 (9.0) 	<ul style="list-style-type: none"> *パーソナルコンピュータ概要 (2.0) *ビジネスマネージメントツール (3.0) *BASIC基礎 (6.0) *BASIC応用 (6.0) *データベース (6.0) *総合実習 (12.0) *事例紹介 (0.5) *その他 (10.5) 	<ul style="list-style-type: none"> *パーソナルコンピュータ概要 (2.0) *ビジネスマネージメントツール (3.0) *BASIC基礎 (6.0) *BASIC応用 (6.0) *データベース (6.0) *総合実習 (12.0) *事例紹介 (0.5) *その他 (10.5)
	(注):()内は日数を示す。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 簡易言語は帰国後すぐにも利用したいとの意見もだされ十分に修得できたものと考えられる。 研修員の経験度の差が大きかった。 	<ul style="list-style-type: none"> データベース及びシステム開発関係の科目については総合実習に必要な最低限を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> システム設計概要は総合実習の中で必要の程度説明した。 早く終了した研修員のために応用問題を作成した。また、進捗の遅い研修員の為に補講も実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合実習の時間が不足しがちであったので、パソコン概要及び特別講義を削除し、1日追加して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度より期間を6日間延長し、BASIC、データベース及び総合実習等を充実した。 期間を延長したため、経験のある研修員は早く終わることとなり追加問題も拡充した。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験度の開きが大きく、補講等の個人指導を実施した。
要望事項等	<ul style="list-style-type: none"> データベース及びシステム開発関係の内容は経験の無い研修員には実習時間が不足した。 	<ul style="list-style-type: none"> システム開発の内容を理解するには時間が足りなかった。 レベル差が著しく、経験の多い研修員は全員が終了するまで待たねばならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各科目の演習時間及び実習時間が不足した。 	<ul style="list-style-type: none"> 各科目の演習時間及び実習時間が不足した。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新のソフトウェア及びハードウェアを取り入れて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> アセンブラ、C言語、AI言語も知りたい。 最新のソフトウェア及びハードウェアを取り入れて欲しい。
期待満足度				<p>コンピュータ経験者：12/15名</p>	<p>コンピュータ経験者：9/15名</p>	<p>コンピュータ経験者：11/15名</p>
コースレベル				<p>易しい科目：パソコン概要</p>		<p>易しい科目：パソコン概要</p>

表8 コース別実施状況（汎用パッケージ利用コース）

実施総評	<p>・殆どの研修員が、本コースの目的である「汎用パッケージの有効利用法や業務への適用方法」を理解できた。</p> <p>・62年度1回だけの実施であるが「パッケージそのものの設計及び開発方法」、「システムの設計及び開発に有効なツールとしてのパッケージの利用法」の習得を期待していた研修員も数多く見られた。後者に対しては、自習等の時間を利用し「高生産性支援ツール」等のデモンストレーションの実施や、関連資料の配布で対処した。</p>		
コース	60 年 度	61 年 度	62年度汎用パッケージ利用 (42)
実施科目	<p>(注) : ()内は日数を示す。</p>		<p>* TSS使用性 (2.5)</p> <p>* 汎用パッケージ導入法 (1.0)</p> <p>* 汎用パッケージ (PLANNER) (3.0)</p> <p>* 汎用パッケージ (ANALYST) (3.0)</p> <p>* 汎用パッケージ (MDS IV) (3.0)</p> <p>* システム分析 (3.0)</p> <p>* プロジェクト開発管理 (2.0)</p> <p>* パッケージシステム総合実習 (11.0)</p> <p>* 最新のコンピュータ動向 (1.0)</p> <p>* その他 (12.5)</p>
実施状況			62年度より開始
要望事項等			<p>* もっとたくさんの統計関連パッケージを紹介してほしい。</p> <p>* 各科目個々でのパッケージの実習問題の難易度を高くしてほしい。</p>
期待満足度			
コースレベル			

4. アンケート集計結果

別添資料-4 アンケート集計結果

情報処理要員養成コースの見直しに伴う情報収集のため、昭和62年度までの全帰国研修員（384名）を対象としてアンケートを実施し、215名分（回収率=56%）を回収した。主な特徴は以下のとおりである。

(1) パーソナルコンピュータ関連

- ① MS-DOS、BASIC、及びDB パッケージは70%以上のものが現在使用していると回答しており、非常に良く使われている。
- ② C言語、パソコン間通信及びLANは、約40%のものが近い将来または将来必要と回答している。

(2) メインフレーム関連

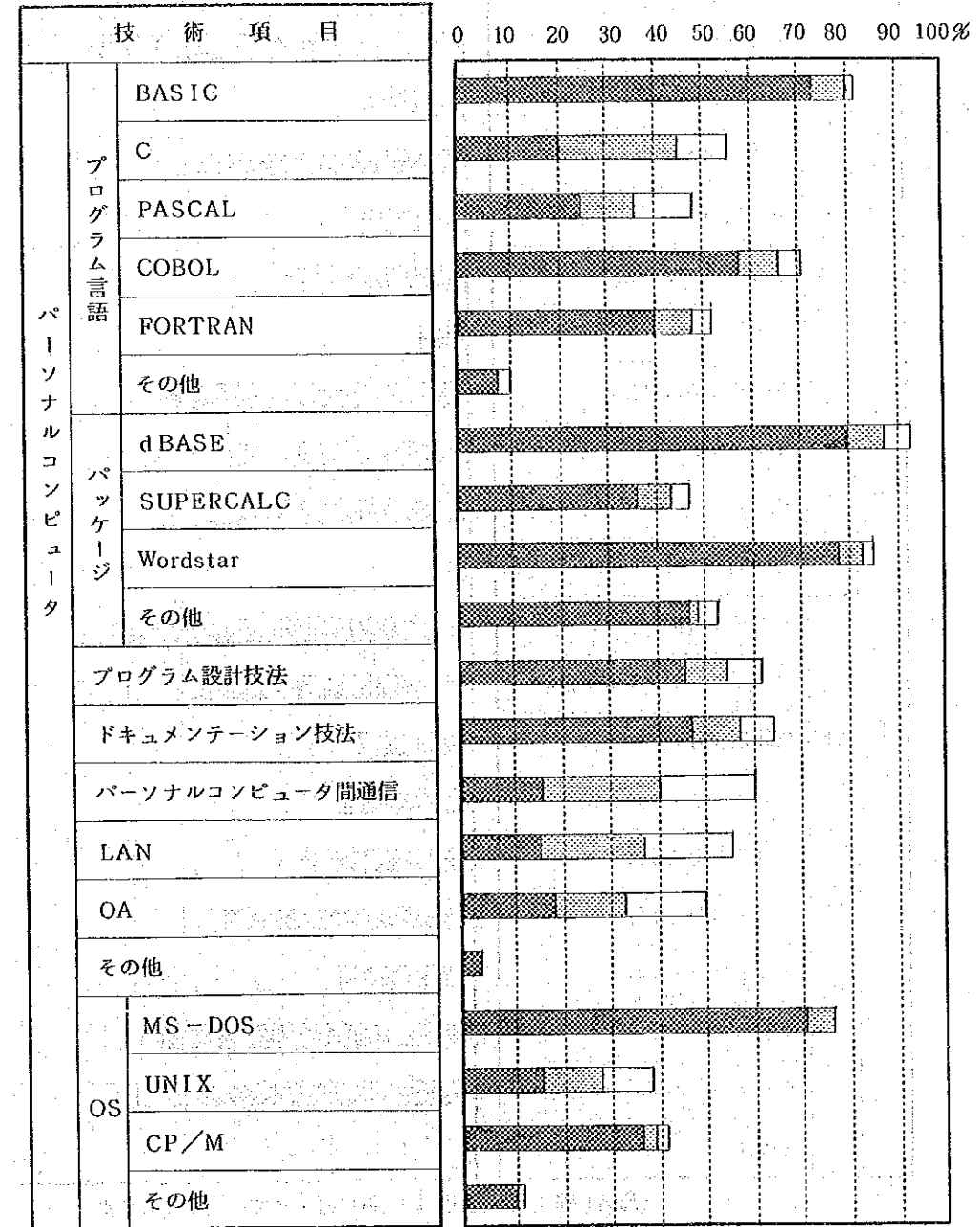
- ① COBOL の普及率は高く78%であり、オンラインプログラミング及びデータベースプログラミングは約50%の者が現在使用しており、近い将来又は将来必要と回答した者も30%以上である。
- ② データベース設計技術は、56%の者が現在使用しており、近い将来又は将来必要と回答した者も27%いる。また、ネットワーク設計技術については現在使用していると回答した割合はデータベース設計技術に比べて低いが、近い将来又は将来必要と回答した者は37%である。
- ③ データベースはリレーショナルタイプを現在使用していると回答した者が42%でありCODASYLタイプを使用していると回答した者より多い。
- ④ セキュリティの技術については、将来必要と考えている者が多く、29%の者が近い将来又は将来必要と回答している。
- ⑤ LAN、分散処理、OA、OSI及びAIについてはまだ余り使用されていないが、将来必要と考えている者が多く、30%程度が近い将来又は将来必要と回答している。

(3) 要員育成の優先度

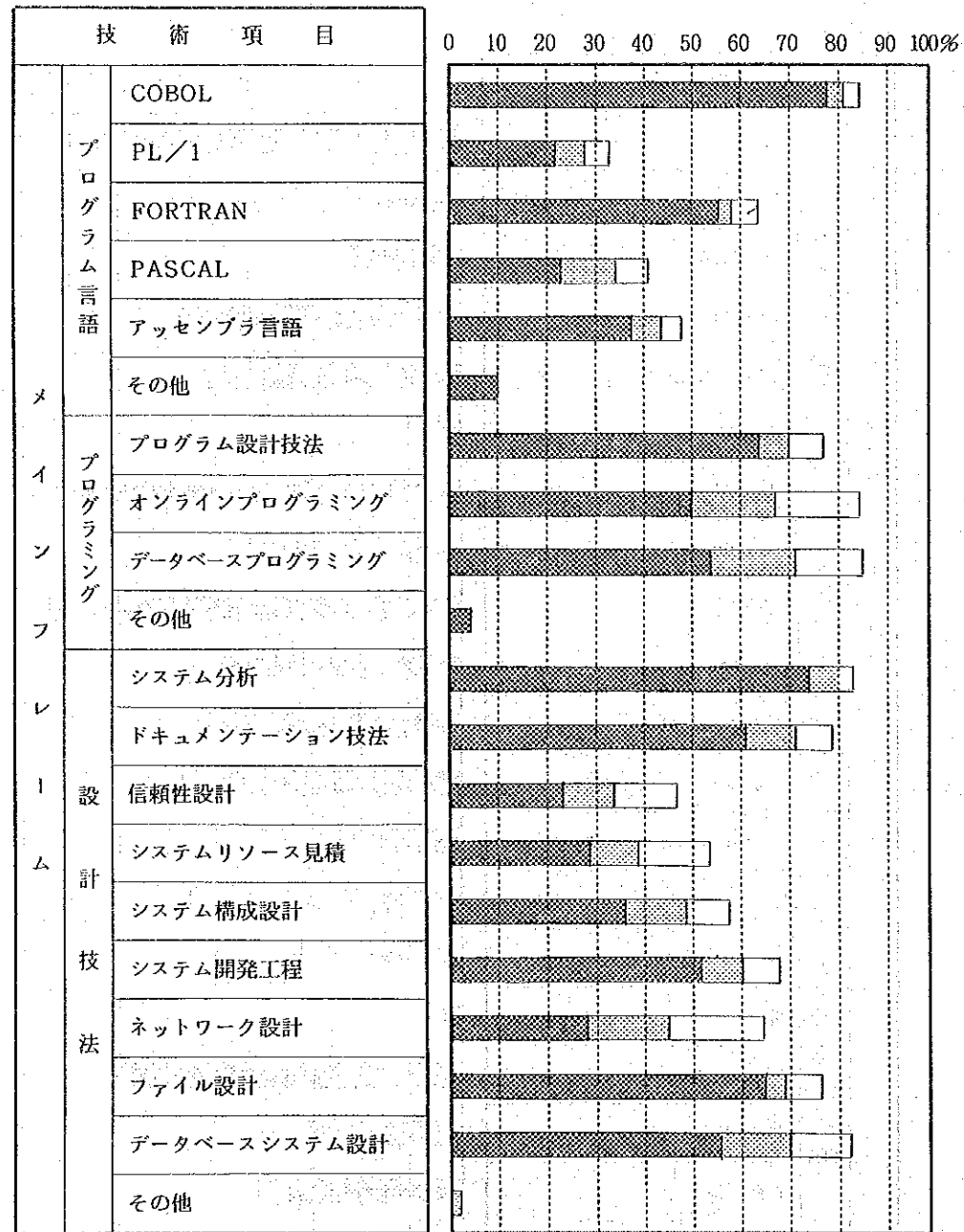
要員育成の急がれる優先順位は、以下のとおりである。

- ① パソコン関連の技術者は、アナリスト、シニアプログラマの順で不足していると回答している。
- ② メインフレーム関連の技術者に関しては、システムプログラマ、アナリスト、シニアアナリスト、プログラマ、シニアプログラマ、プロジェクト管理者の順で不足していると回答している。

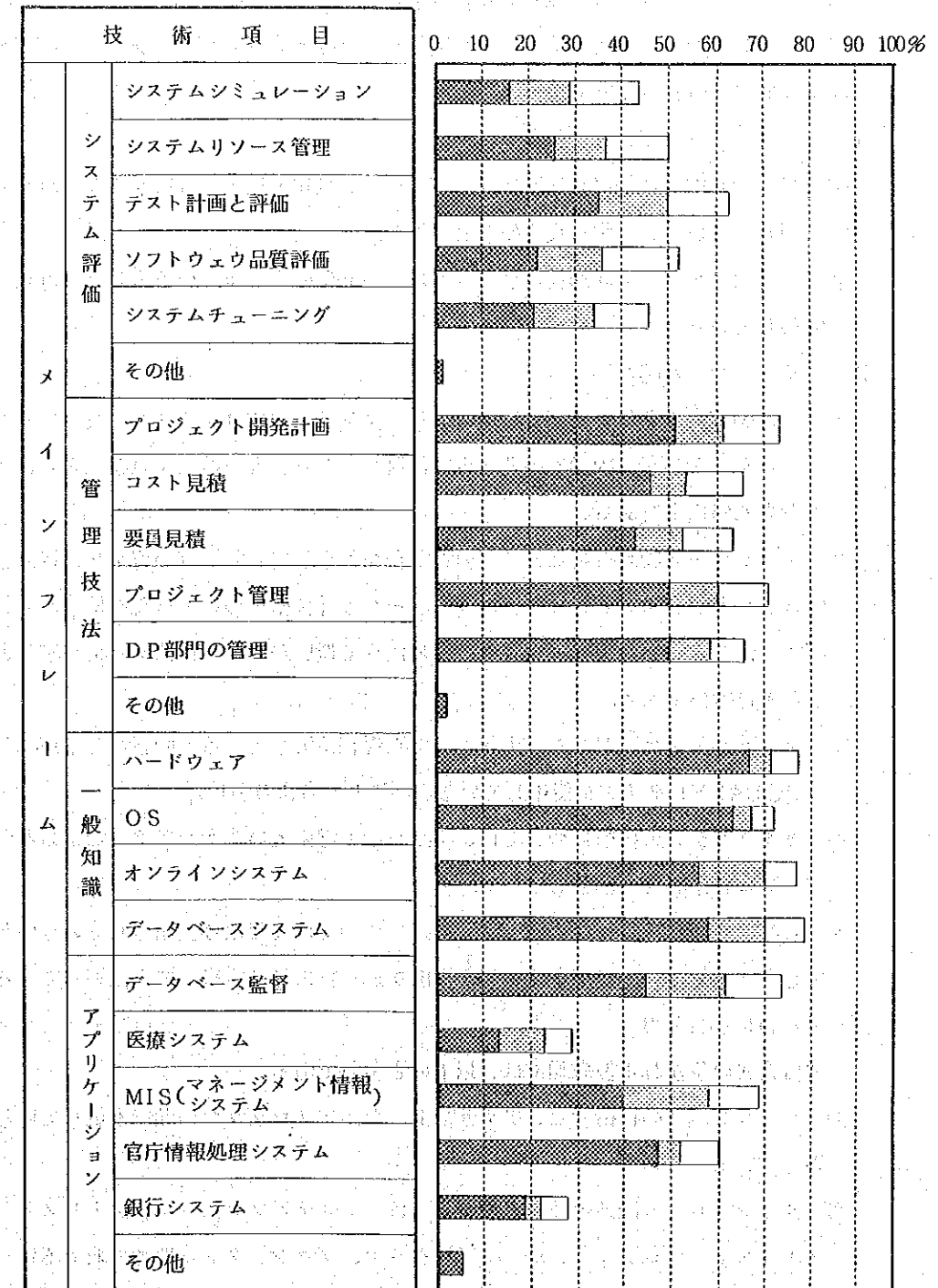
アンケート集計結果



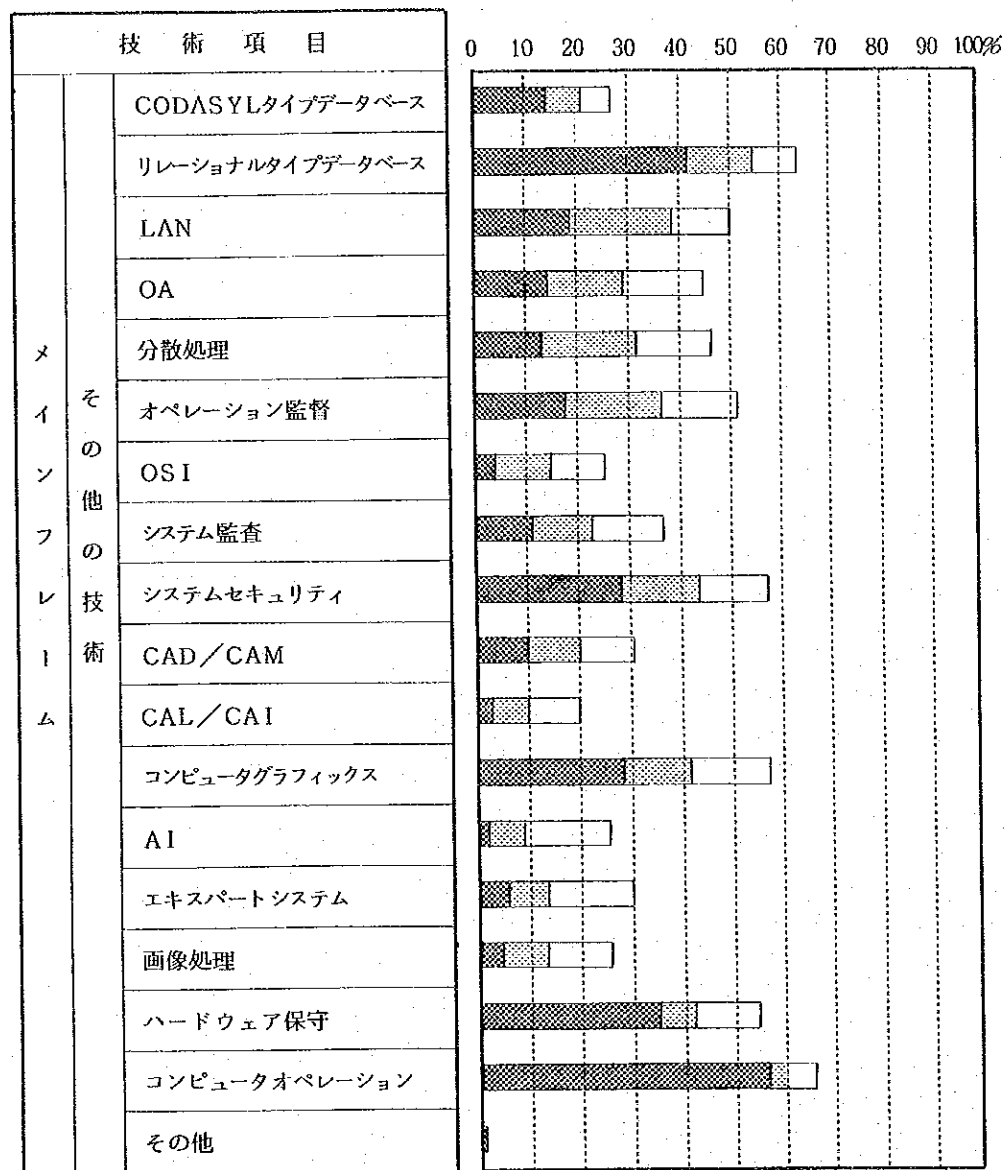
〔凡例〕 ◼：現在使用、◻：近い将来必要、□：将来必要



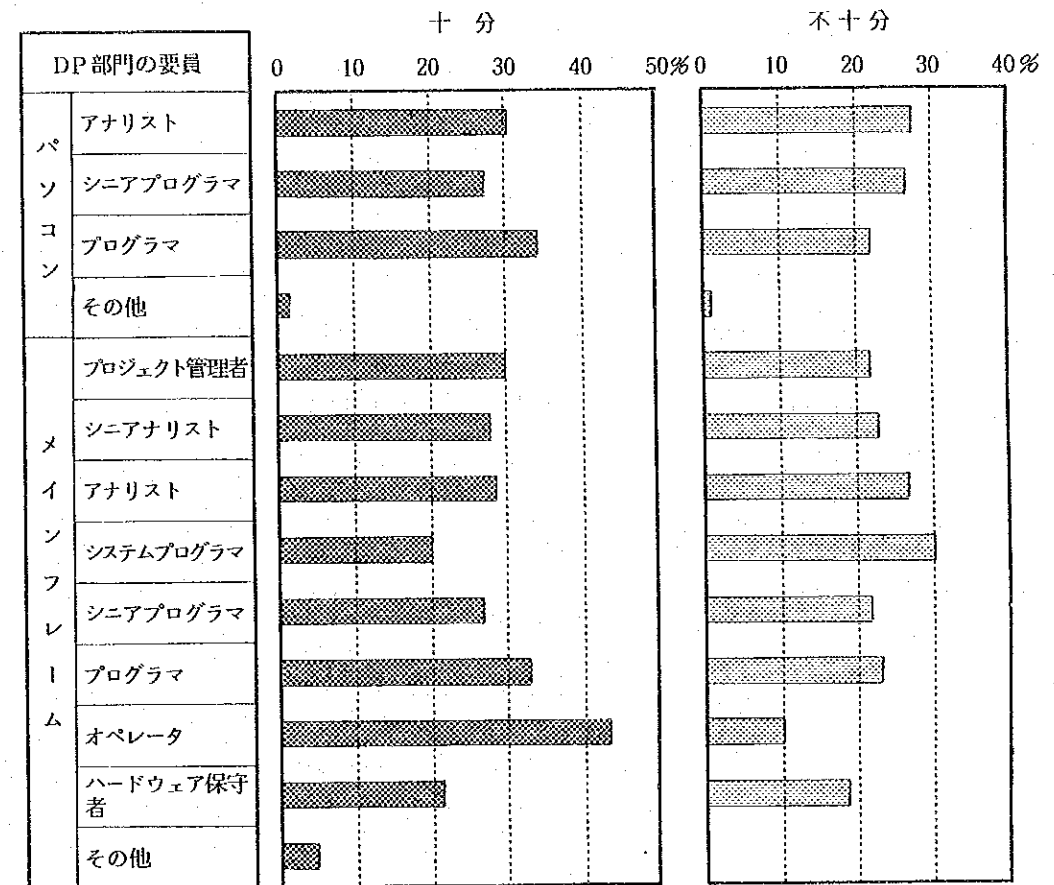
(凡例) [現在使用]、[近い将来必要]、[将来必要]



(凡例) [現在使用]、[近い将来必要]、[将来必要]



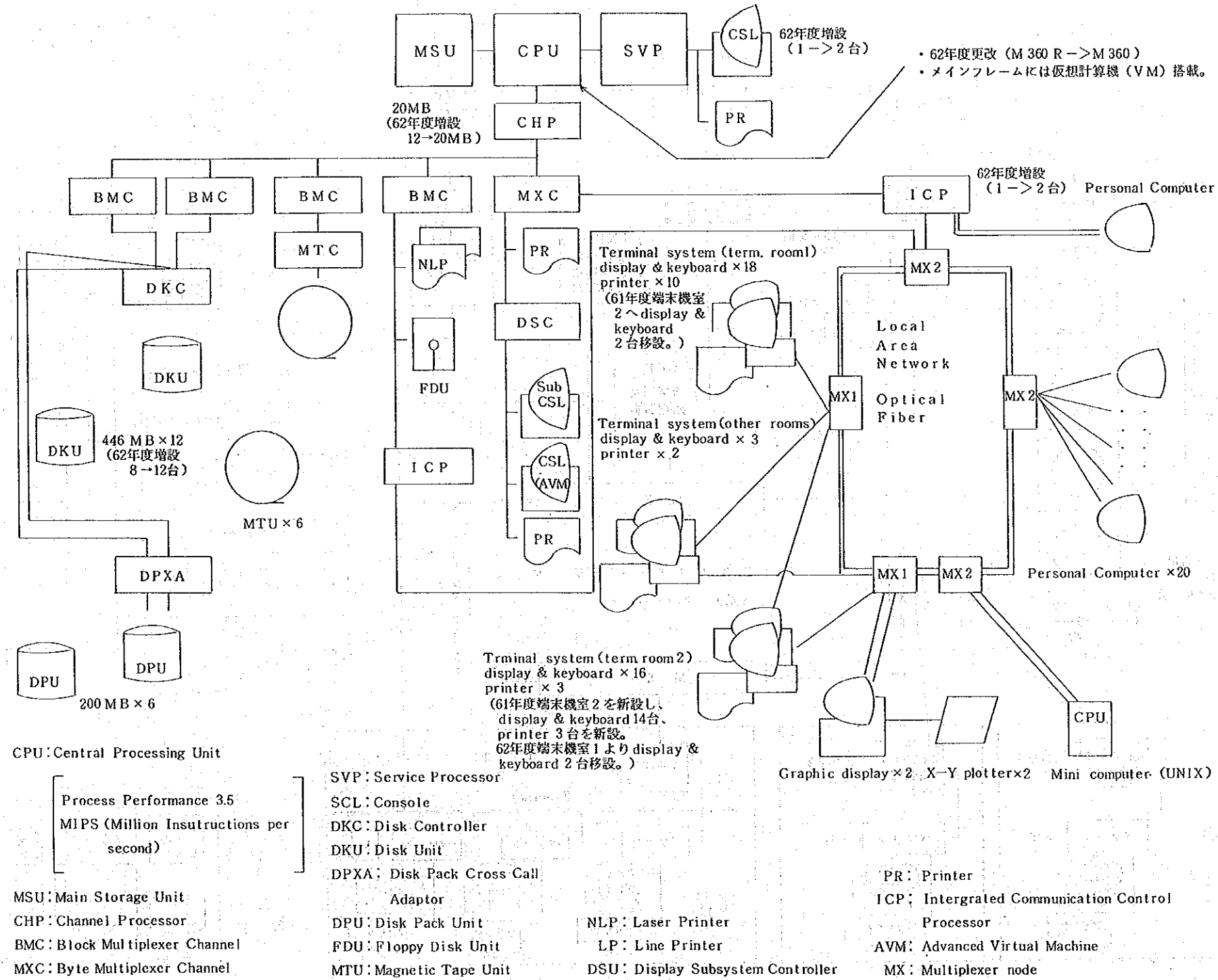
(凡例) 〇：現在使用、◐：近い将来必要、□：将来必要



5. 沖縄国際センター・システム構成図

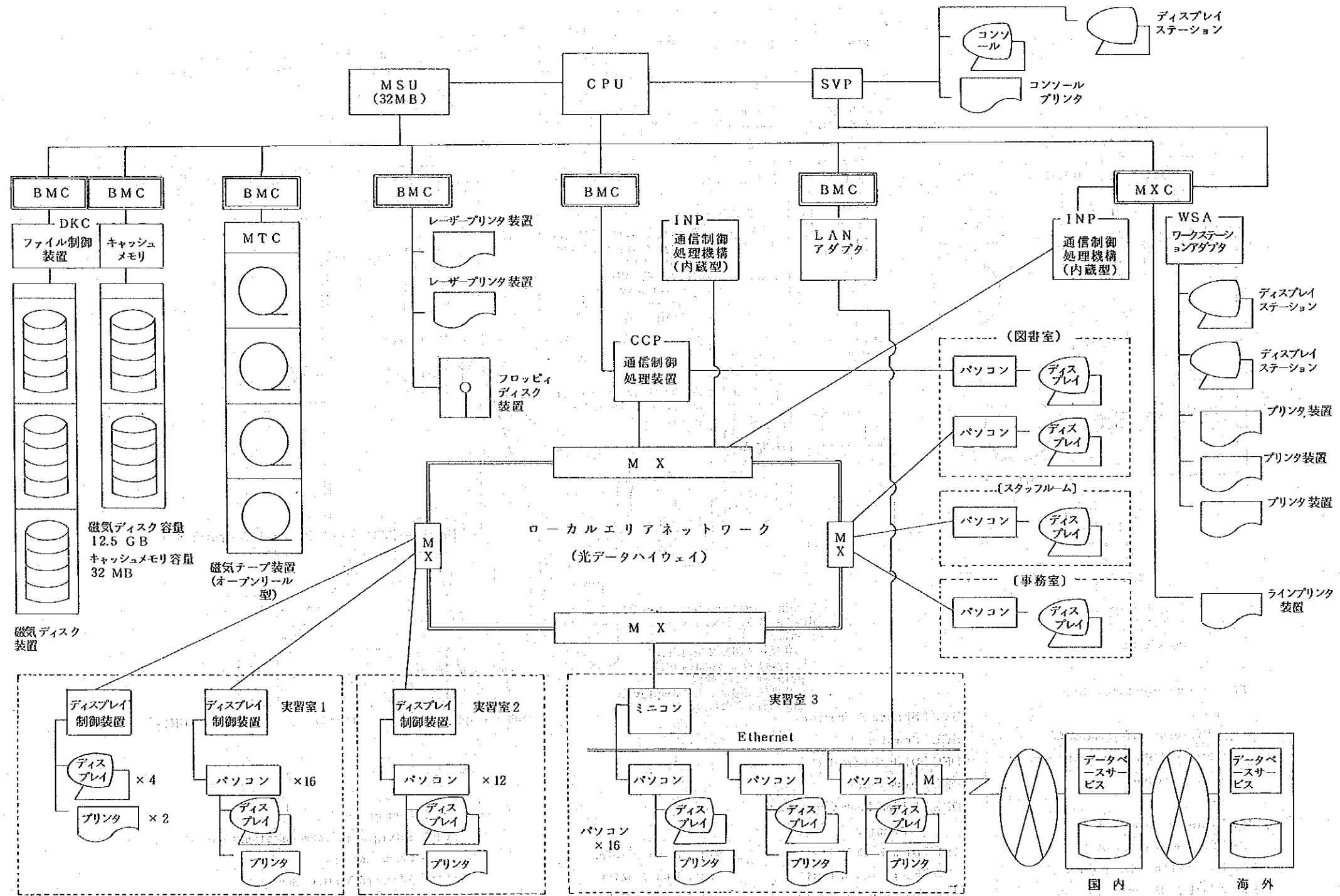
5. 沖縄国際センター・システム構成図

(1) 現在のシステム構成



沖縄国際センター・システム構成図

(2) コース見直し後のシステム構成



6. 情報処理要員養成コース実施に係る使用機器賃貸借料一覧

6. 情報処理要員養成コース実施に係る使用機器賃貸借料一覧

(1) 昭和60年度

(単位：円)

	レンタル価格(月額)
ハードウェア	17,443,800
ベーシック・アプリケーションソフトウェア	6,321,000
パーソナルコンピュータソフトウェア	1,700,800
小計	25,465,600
出精値引額	△ 16,465,600
総計(支払額)	9,000,000

※値引率64.7%
 ※年間契約額
 ~108,000,000円/年

(2) 昭和61年度

(単位：円)

	レンタル価格(月額)
ハードウェア	18,955,200
ベーシック・アプリケーションソフトウェア	6,321,000
パーソナルコンピュータソフトウェア	1,700,800
小計	26,977,000
出精値引額	△ 17,443,000
総計(支払額)	9,534,000

※値引率64.7%
 ※年間契約額
 ~114,408,000円/年

(3) 昭和62年度

(単位：円)

	レンタル価格(月額)
ハードウェア	18,631,400
ベーシック・アプリケーションソフトウェア	3,407,000
パーソナルコンピュータソフトウェア	410,000
小計	22,448,400
出精値引額	14,484,400
総計(支払額)	7,964,000

※値引率64.5%
 ※年間契約額
 ~95,568,000円/年

(追加契約分)

(単位：円)

	レンタル価格(月額)
M-360R増設(AVM)分	3,340,600
出精値引額	2,160,600
総計(支払額)	1,180,000

※値引率64.7%
 ※年間契約変更額~3,882,000円/年
 ※昭和62年度総契約額~99,450,000円/年
 (@95,568,000円/年+3,882,000円/年)

(4) 昭和63年度

(単位：円)

	レンタル価格(月額)
ハードウェア	21,754,000
ベーシック・アプリケーション ソフトウェア	3,785,000
パーソナルコンピュータソフトウェア	410,000
小 計	25,949,000
出精値引額	16,749,000
総計(支払額)	9,200,000

※値引率 64.5%

※年間契約額
～110,400,000

(5) 昭和64年度(見積額)

(単位：円)

	レンタル価格(月額)
ハードウェア	22,388,200
ベーシック・アプリケーション ソフトウェア	4,247,000
パーソナルコンピュータソフトウェア	1,613,080
小 計	28,248,280
出精値引額	18,748,280
総計(支払額)	9,500,000

※値引率 66.4%

※年間契約額
～114,000,000

7. 情報処理要員養成コース用開発テキスト一覧

7. 情報処理要員養成コース用開発テキスト一覧

(1) 昭和59年度

(日本電信電話株式会社分)

項	教材名
1	システム開発概論
2	ハードウェア概論
3	最新のコンピュータ動向
4	データ通信入門
5	プログラム設計技法 I
6	プログラム設計技法 II
7	ソフトウェア概論
8	システム導入計画法
9	DP部門の運用管理
10	事例紹介
11	レッスンプラン
12	コース概説書
13	試験問題
14	アンケート (中間、最終)
15	討論会資料
16	見学資料
17	コース日程計画表

※尚、項番11~17は
参考資料は試験問題である。

(富士通株式会社分)

項	教材名
1	TSS USAGE
2	JCL AND UTILITIES
3	OPERATING PROCEDURES
4	DATA BASE PROGRAMMING
5	DATA BASE FUNCTIONS AND DESIGN
6	DATA COMM PROGRAMMING
7	COBOL PROGRAMMING
8	FORTRAN PROGRAMMING
9	PL/I PROGRAMMING
10	INSTRUCTOR TRAINING
11	PERSONAL COMPUTER CASE STUDY
12	PERSONAL COMPUTER EXERCISE (I)
13	PERSONAL COMPUTER EXERCISE (II)
14	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (I)
15	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (II)
16	CASE STUDY (III)

(2) 昭和60年度

(日本電信電話株式会社分)

項	教 材 名	項	教 材 名
1	コンピュータアーキテクチャ	18	システムシミュレーション実習
2	OS基礎	19	システム評価及び実習
3	プログラミング言語	20	システムエンジニアコース、 データベースシステム設計コース、 オンラインシステム設計コース、 用実習問題
4	オンラインデータベース概要		
5	システム分析		
6	信頼性設計	21	訓練計画表
7	待ち行列理論	22	レッスンプラン
8	処理能力計算	23	コース概説書
9	ファイル・メモリ設計	24	プリテスト
10	システム構成演習	25	成果測定テスト
11	ネットワーク設計	26	見学実習資料
12	DDX 概要	27	受講生アンケート
13	ネットワーク設計演習	※ 尚、項番21～27は参考資料及び試験問題である。	
14	ソフトウェア生産技術		
15	プロジェクト開発管理		
16	テスト計画と評価		
17	能力評価概要		

(富士通株式会社分)

項	教 材 名
1	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP SE
2	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP DB
3	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP DC

(3) 昭和61年度

(日本電信電話株式会社分)

項	教 材 名
1	アプリケーションパッケージ導入法
2	実習開発設計
3	訓練計画表
4	レッスンプラン
5	コース概説書
6	プリテスト
7	成果測定テスト
8	受講アンケート
9	見学実習資料

※尚、項番3～9は参考資料及び試験問題である。

(富士通株式会社分)

項	教 材 名
1	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (I)
2	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (I)
3	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (II)
4	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (II)
5	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (SE)
6	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (SE)
7	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (DB)
8	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (DB)
9	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (DC)
10	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP (DC)
11	VSAM PROGRAMMING
12	VSAM PROGRAMMING
13	SYSTEM GENERATION
14	SYSTEM GENERATION

(4) 昭和62年度

(日本電信電話株式会社分)

項	教 材 名
1	電子計算機入門
2	ソフトウェア入門
3	OS入門
4	実習問題設計
5	訓練計画表
6	レッスンプラン
7	コース概説書
8	プリテスト
9	成果測定テスト
10	受講生アンケート

※尚、項番5～10は、参考資料及び試験問題である。

(富士通株式会社分)

項	教 材 名
1	OPERATING SYSTEM USAGE
2	OPERATING PROCEDURES
3	DATA BASE PROGRAMMING
4	DATA COMMUNICATION PROGRAMMING
5	COBOL PROGRAMMING
6	PACKAGE WORKSHOP
7	PACKAGE WORKSHOP

8. 情報処理要員養成コース新規テキスト開発・メンテナンス経費一覧

8. 情報処理要員養成コース新規テキスト開発・メンテナンス経費一覧表

(1) 日本電信電話株式会社分

(単位：円)

	新規テキスト開発・メンテナンス経費
昭和59年度	76,785,298
昭和60年度	75,225,855
昭和61年度	29,337,154
昭和62年度	33,416,428
総計	214,764,735

(2) 富士通株式会社分

(単位：円)

	新規テキスト開発・メンテナンス経費
昭和59年度	48,782,000
昭和60年度	15,639,340
昭和61年度	28,502,000
昭和62年度	23,852,760
総計	116,776,100

9 .情報処理要員養成コース用購入テキスト一覧

9. 富士通株式会社よりの情報処理要員養成コース用購入テキスト一覧

(1) 昭和59年度

項	教材名	項	教材名
1	OPERATING SYSTEM INTRODUCTION	15	BASIC ADVANCED
2	ONLINE DATA BASE INTRODUCTION	16	BUSINESS MANAGEMENT TOOLS
3	TSS USAGE	17	DATA BASE INTRODUCTION
4	OPERATING SYSTEM USAGE	18	DATA BASE WORKSHOP
5	OPERATING PROCEDURES	19	SYSTEM DESIGN OVERVIEW
6	DATA BASE PROGRAMMING	20	SYSTEM DESIGN WORKSHOP
7	DATA BASE FUNCTIONS AND DESIGN		
8	ONLINE PROGRAMMING		
9	COBOL PROGRAMMING		
10	FORTAN PROGRAMMING		
11	PL/I PROGRAMMING		
12	INSTRUCTOR TRAINING		
13	PERSONAL COMPUTER INTRODUCTION		
14	BASIC INTRODUCTION		

※上記テキスト購入総額= 9,284,400円

(2) 昭和60年度

項	教材名	項	教材名
1	OPERATING SYSTEM INTRODUCTION	15	BASIC ADVANCED
2	ONLINE DATA BASE INTRODUCTION	16	BUSINESS MANAGEMENT TOOLS
3	TSS USAGE	17	DATA BASE INTRODUCTION
4	OPERATING SYSTEM USAGE	18	DATA BASE WORKSHOP
5	OPERATING PROCEDURES	19	SYSTEM DESIGN BASIC
6	DATA BASE PROGRAMMING	20	SYSTEM DESIGN WORKSHOP
7	DATA BASE FUNCTIONS AND DESIGN	21	OPERATING SYSTEM FUNCTIONS
8	DATA COMM. PROGRAMMING	22	JIS COBOL
9	COBOL PROGRAMMING - SELF STUDY	23	VSAM INTRODUCTION
10	FORTAN PROGRAMMING - SELF STUDY	24	VSAM COBOL
11	PL/I PROGRAMMING - SELF STUDY	25	DATA BASE SYSTEM CREATION
12	INSTRUCTOR TRAINING	26	DATA COMM SYSTEM CREATION
13	PERSONAL COMPUTER INTRODUCTION	27	SYSTEM GENERATION
14	BASIC INTRODUCTION	28	SYSTEM SIMULATION

※上記テキスト購入総額= 13,003,000円

(3) 昭和61年度

項	教材名	項	教材名
1	OS INTRODUCTION	16	DATA BASE WORKSHOP
2	ONLINE DATA BASE INTRO.	17	SYSTEM DESIGN BASIC
3	TSS USAGE	18	SYSTEM DESIGN WORKSHOP
4	OS USAGE	19	OS FUNCTIONS
5	OPERATING PROCEDURES	20	COBOL WORKSHOP
6	DATA BASE PROGRAMMING	21	VSAM PROGRAMMING
7	DATA BASE FUNC. & DSGN	22	DATA BASE SYS. CREATION
8	DATA COMMUNICATION PRO.	23	DATA COMM. SYS. CRE.
9	COBOL PROGRAMMING	24	SYSTEM GENERATION
10	INSTRUCTOR TRAINING	25	SYSTEM SIMULATION
11	PERSONAL COMP. INTRO.	26	ONLINE SYSTEM DESIGN
12	BASIC INTRODUCTION	27	STATISTICAL DATA PKG. (ANALYST)
13	BASIC ADVANCED	28	PROJECT PLANNING PKG. (PLANNER)
14	BUSINESS MGT. TOOLS	29	MANAGEMENT DECISION PKG. (MDS IV)
15	DATA BASE INTRODUCTION		

※上記テキスト購入総額= 15,698,000円

(4) 昭和62年度

項	教材名	項	教材名
1	OS INTRODUCTION	17	SYSTEM DESIGN BASIC
2	ONLINE DATA BASE INTRO.	18	SYSTEM DESIGN WORKSHOP
3	TSS USAGE	19	OS FUNCTIONS
4	OS USAGE	20	COBOL WORKSHOP
5	OPERATING PROCEDURES	21	VSAM PROGRAMMING
6	DATA BASE PROGRAMMING	22	DATA BASE SYS. CREATION
7	DATA BASE FUNC. & DSGN	23	DATA COMM. SYS. CRE.
8	DATA COMMUNICATION PRO.	24	SYSTEM GENERATION
9	COBOL PROGRAMMING	25	SYSTEM SIMULATION
10	INSTRUCTOR TRAINING	26	ONLINE SYSTEM DESIGN
11	PERSONAL COMP. INTRO.	27	RECOV. FUNC & DESIGN
12	BASIC INTRODUCTION	28	STATISTICAL DATA PKG. (ANALYST)
13	BASIC ADVANCED	29	PROJECT PLANNING PKG. (PLANNER)
14	BUSINESS MGT. TOOLS	30	MANAGEMENT DECISION PKG. (MDS IV)
15	DATA BASE INTRODUCTION	31	PROJECT MANAGEMENT GAME
16	DATA BASE WORKSHOP		

※上記テキスト購入総額= 11,439,850円

※昭和59年度より昭和62年度までの同テキスト購入総額= 49,425,250円

10. 学籍管理システム及び図書管理システム開発経費一覧

10. 学籍管理システム及び図書管理システム開発経費一覧

(1) 学籍管理システム開発経費

昭和59年度 11,568,000 円

昭和60年度 17,517,000 円

小 計 29,085,000 円

(2) 図書管理システム開発費

昭和61年度 11,301,600 円

(1)(2) 総 計 40,386,600 円

